

事務事業名	観光パンフレット作成事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
施策名	計画 24	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成				所属係	商工振興班	課長名	財津 幸泰
基本事業名	体系 92	文化財に触れる機会の提供				担当者名	中嶋 繁之	電話番号 (内線)	248-1115 1253
予算科目	会計 01	款 07	項 01	目 01	事業	法令根拠			
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容)市内の観光パンフレットを作成(20,000部)することにより合志市のPRを図る。 市内の施設や、市外の施設等に配布し、合志市のPRを図る。 (業務の内容)パンフレット掲載用資料収集 見積徴集、契約、検査、支払 (予算の内訳)印刷製本費1,500,000円						総 投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
事業費計 (A)								0	
正規職員従事人数									
延べ業務時間									
人件費計 (B)								0	
トータルコスト(A)+(B)								0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

観光冊子の作成 20,000部 630,000円

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

事業なし

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・合志市転入者
- ・各小中学校への資料
- ・出張の際の合志市の紹介とPR
- ・観光情報を求めている方への送付

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

合志市のPRが図られる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

多くの文化財を知り触れることができる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 観光冊子の配布数	部



イ

ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 転入者数	人
イ 各小中学校の児童生徒数	人



イ

ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 冊子配布数	部



イ

ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合	%



イ

ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入 量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		630			1,000	
	事業費計 (A)	千円	0	0	630	0	1,000	0
	正規職員従事人数	人			2		3	
	延べ業務時間	時間			140		150	
	人件費計 (B)	千円	0	0	556	0	596	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,186	0	1,596	0
活動指標	ア 部			20000				
	イ 部							
対象指標	ア 人			1,000			1,000	
	イ 人			6,000			6,000	
成果指標	ア 部			2,000	8,000	8,000	2,000	
	イ 部							
上位成果指標	ア %							
	イ %							

合志市

事務事業名	観光パンフレット作成事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
合併し新市誕生に伴い、合志市のPRのため

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
旧合志町では2年ごとに万能地図を活用した観光マップを作成していた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
新市になって早く互いの地区の知りたいので観光パンフを欲しい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 合志市の情報を発信することにより、合志市内への観光客の呼び込みを行い、さらに合志市のPRに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 全市民が対象であり、また市外へのPRを行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 市外在住者、メディア、熊本県の都市圏のアンテナショップ等にも配布しており、十分に満たしている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 2年ごと程度で作成するので、他市町村のパンフレットを収集し参考にする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 単年度事業として実施。職員や学校、また市外から観光パンフレット送付の依頼の連絡がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限必要な情報を盛り込み、最低限必要な作成部数としているため、さらなる削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 すでに初年度に多く作成し、2年後と程度でしか作成しないので削減効果が出ています。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 不特定多数の人に利益をもたらすため公平・公正である。

合志市

事務事業名	観光パンフレット作成事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

次のパンフレット作成時期を他課と協議して、合志市全てを紹介できるパンフレットにする。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

次のパンフレット作成時期を他課と協議して、合志市全てを紹介できるパンフレットにする。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項